

1 利用者アンケート調査集計結果

(1) アンケート調査の概要

この調査は、平成23年7月1日から本格運行を開始した稲沢市コミュニティバスの利便性向上に向け、今後の『運行事業計画』見直しの検討に資することを目的として実施しました。

ア 調査期間

平成24年9月3日（月）から9月8日（土）まで

イ 調査対象

調査期間中におけるコミュニティバス利用者

ウ 調査項目

- 主に利用される路線について
- 主に利用されるバス停留所について
- コミュニティバスの利用頻度について
- 主にコミュニティバスに乗車される時間帯について
- コミュニティバスの主な利用目的について
- 主な目的地について
- 最寄りの停留所まで徒歩でかかる時間について
- 各路線における経費負担額と運行路線の見直しについて
- コミュニティバスの改善点について
- 新たな停留所の設置を期待される目的地について

エ 調査方法

- 各路線のコミュニティバス乗務員が「アンケート用封筒（アンケート用紙・返信用封筒入り）」を利用者へ配布。
その後、利用者が回答した「アンケート用紙」を返送。
- 原則として、利用者1人に対して「アンケート用封筒」を1回配布。

オ 調査期間中の利用者数、配布数、回収数等について

- 利用者数・・・1,240人（大人1,190人、小人22人、未就学児28人）

【内 訳】

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統

414人（大人396人、小人7人、未就学児11人）

祖父江・下津線 地泉院系統

392人（大人372人、小人12人、未就学児8人）

平和・千代田線

132人（大人130人、小人2人、未就学児0人）

大里循環線

302人（大人292人、小人1人、未就学児9人）

○ 調査票配布数・・・519部（大人のみ対象。追加利用者除く。）

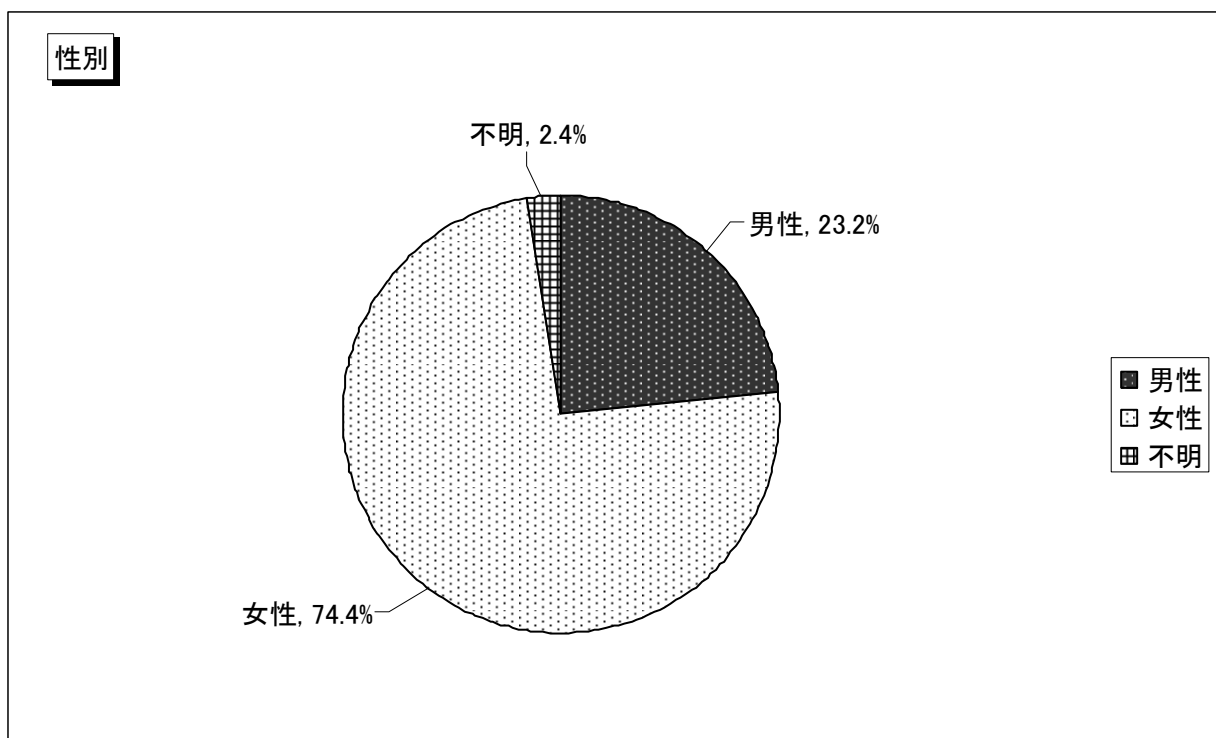
○ 調査票回収数・・・254部（回収率48.94%）

(2) アンケート調査の結果

ア アンケート対象の属性

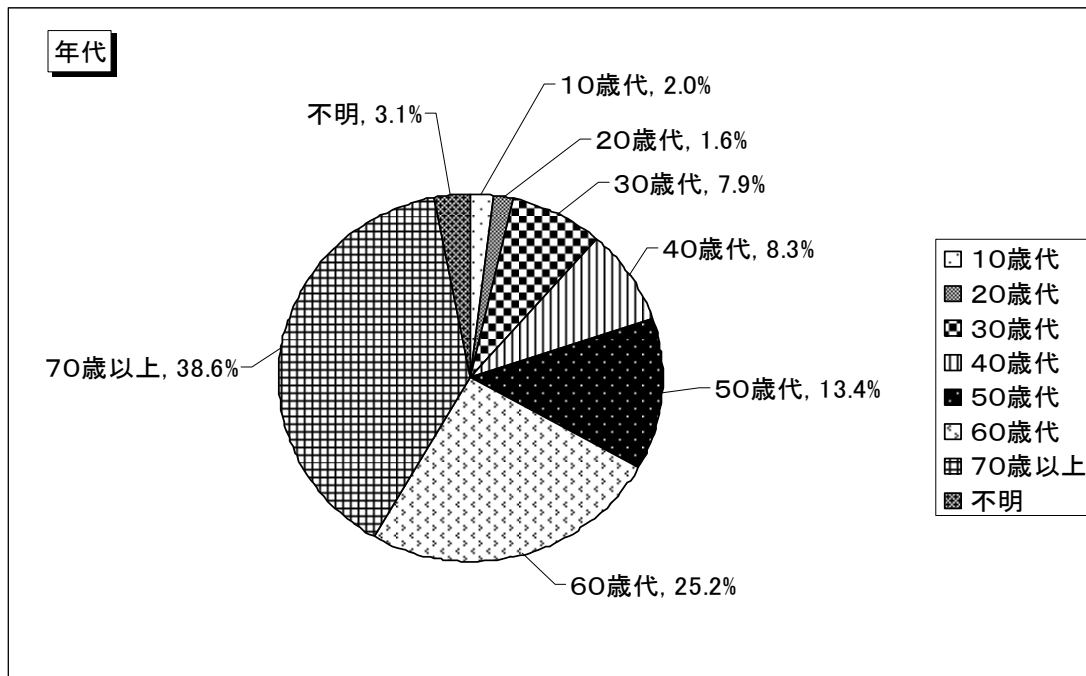
◎ 性別

○ 4分の3近くを女性の利用者が占め、女性の割合が圧倒的に高くなっています。



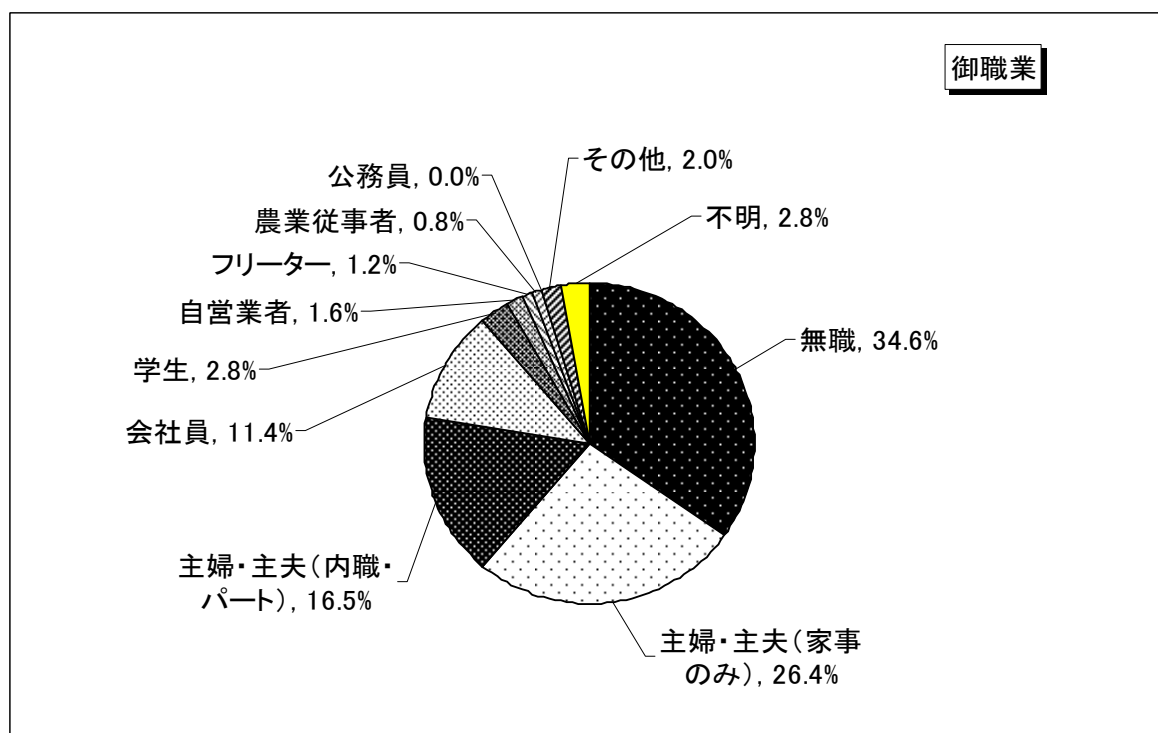
◎ 年代

○ 幅広い年代のかたが利用されていますが、高齢者の占める割合が圧倒的に高く、高齢になればなるほど利用が多くなる傾向にあります。70歳代以上は38.6%、60歳代以上は63.8%、50歳代以上にあつては77.2%の割合を占めています。



◎ 御職業

○ 様々な職種のかたが利用されていますが、「無職」と「主婦・主夫」のかたを合わせますと77.5%もの割合を占めます。

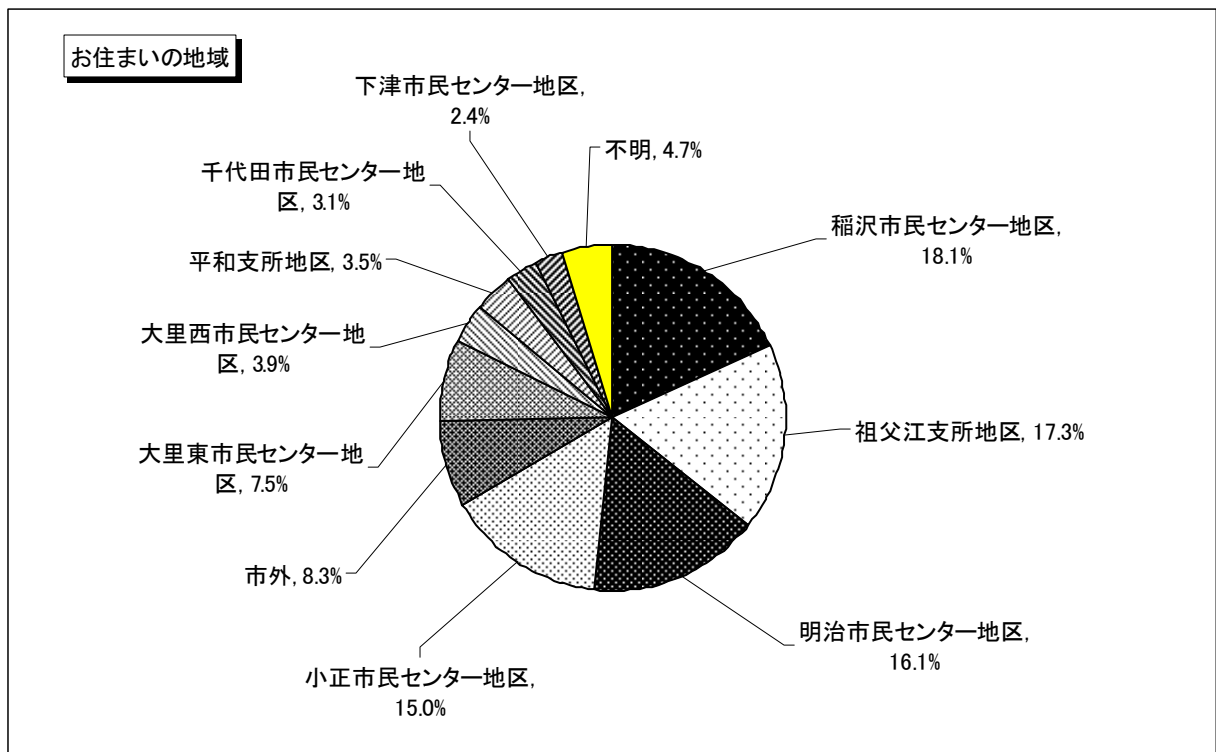


◎ お住まいの地域

○ 「稲沢市民センター地区」、「祖父江支所地区」、「明治市民センター地区」、「小正市民センター地区」の利用者が多いことが分かります。

「稲沢市民センター地区」と「小正市民センター地区」には祖父江・下津線、大里循環線と平和・千代田線の一部が、「明治市民センター地区」には祖父江・下津線と大里循環線の一部が、「祖父江支所地区」には祖父江・下津線が運行しています。

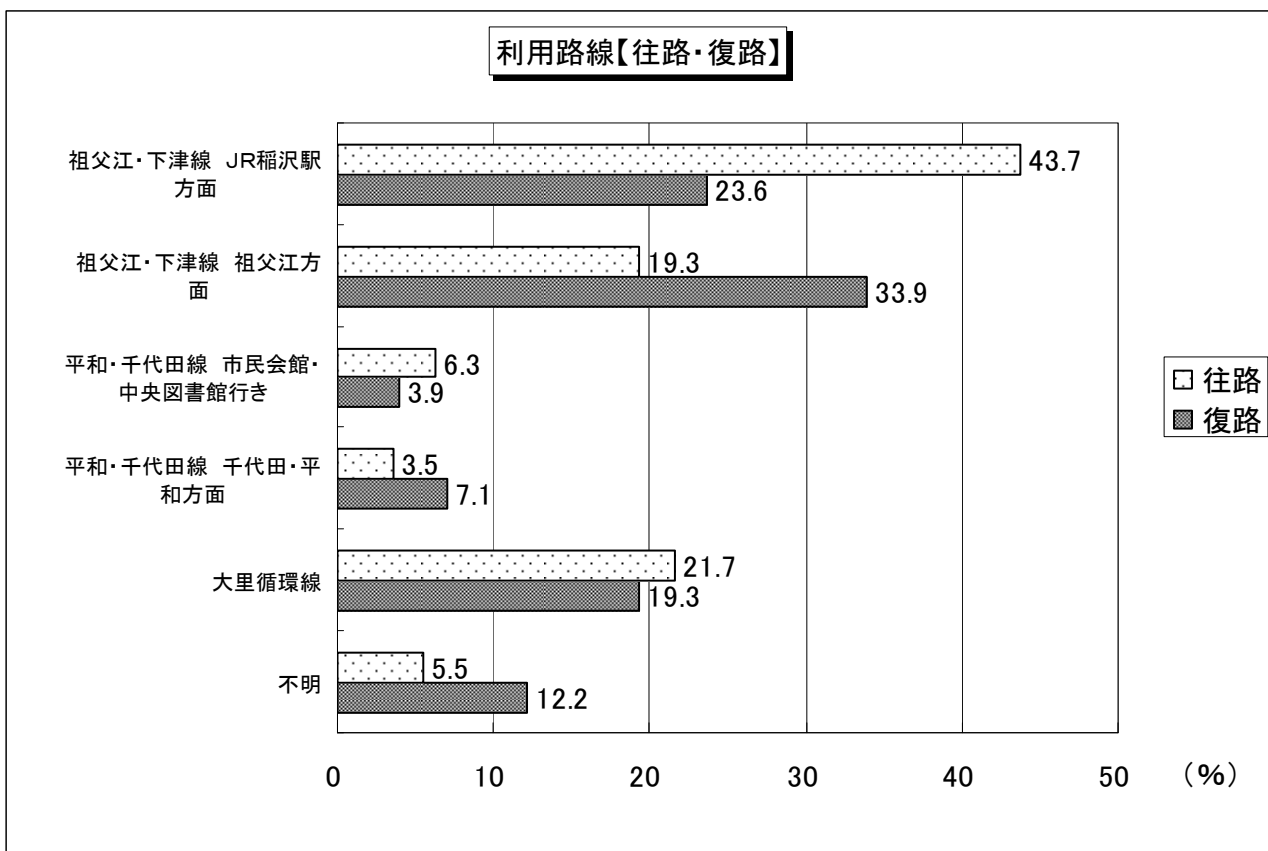
「小正市民センター地区」に次いで「市外」の利用者が8.3%と、「大里東市民センター地区」、「大里西市民センター地区」、「平和支所地区」、「千代田市民センター地区」、「下津市民センター地区」よりも多くなっています。



イ 設問

問1 主にどの路線を利用されますか。
 往路・復路について、1つ選んで記入してください。
 なお、乗継ぎをされた場合は、乗継ぎ後の路線を記入してください。

- 祖父江・下津線、次いで大里循環線の利用者が多い傾向です。往路での1位は「祖父江・下津線 JR稲沢駅方面 (43.7%)」、2位は「大里循環線 (21.7%)」、3位は「祖父江・下津線 祖父江方面 (19.3%)」となり、復路での1位は「祖父江・下津線 祖父江方面 (33.9%)」、2位は「祖父江・下津線 JR稲沢駅方面 (23.6%)」、3位は「大里循環線 (19.3%)」となっています。
 平和・千代田線は、往路・復路、また、中央図書館行き、平和方面ともに10%に満たない利用率で、低調な路線となっています。
- 乗継ぎをされたかたの状況は、「祖父江・下津線 祖父江方面」の往路で3件の御回答があるものの、合計で往路、復路合わせて9件に留まっています。



【乗継ぎをされたかたの状況】

(回答数)

路線・方面	往路	復路
祖父江・下津線 JR稲沢駅方面	1	0
祖父江・下津線 祖父江方面	3	1
平和・千代田線 市民会館・中央図書館行き	1	0
平和・千代田線 千代田・平和方面	0	1
大里循環線	1	1
合計	6	3

問2 主にどのバス停留所を利用されますか。
往路・復路について、それぞれ利用される停留所名を記入してください

○ 御回答いただいた結果は次のとおりです。やはり、駅、病院、量販店付近の停留所での乗降が多くなっています。

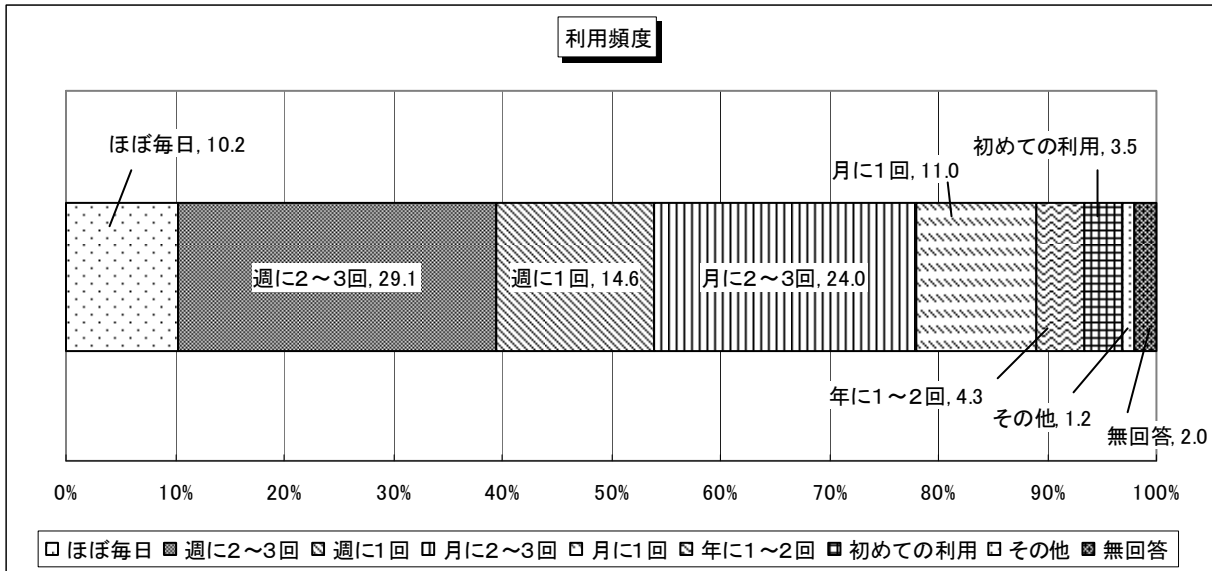
【利用するバス停の状況 往路・復路・乗車・降車】 (回答数)

停留所番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
1	ふれあいの郷	0	3	4	0
2	北方	1	0	0	1
3	祖父江口	11	0	1	7
4	祖父江支所	6	1	1	5
5	祖父江の森	0	2	1	0
6	鶴塚	1	0	0	0
7	尾西病院	2	24	22	3
8	森上駅	10	6	5	9
9	日光	7	0	2	6
10	片原一色	5	2	0	5
11	愛知西農協明治支店	3	0	0	3
12	明治市民センター	2	0	0	2
13	平	2	0	0	2
14	下屋	6	0	0	5
15	天池	3	1	1	2
16	アピタ稲沢店	10	39	43	13
17	ヨシツヤ新稲沢店	21	11	13	19
18	市役所	5	10	7	4
19	美術館・保健センター	2	4	4	2
20	城見ヶ丘	5	2	2	4
21	小沢	6	1	1	6
22	国府宮駅	27	47	48	29
23	市民病院	6	26	19	5
24	市民会館・中央図書館	8	4	4	6
25	小池二丁目	2	0	0	1
26	駅前一丁目	3	1	0	3
27	JR稲沢駅西口	11	6	6	10
28	下津市民センター	2	0	0	2
29	リーフウォーク稲沢	4	11	10	3
30	地泉院前	0	0	0	0
31	愛知西農協長岡支店	2	1	1	1

停留所番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
32	富士美ヶ丘南	4	2	1	4
33	中牧	1	0	0	1
34	善光寺南	2	1	2	2
35	高御堂住宅西	1	0	0	1
36	トップモール	8	3	3	8
37	南緑町	3	0	0	3
38	大矢	1	2	1	1
39	大矢西	0	0	0	0
40	附島	0	1	1	0
41	千代田市民センター	1	0	0	1
42	野崎	0	0	0	0
43	田代団地北	1	0	0	1
44	前浪北	2	0	0	2
45	東城	1	0	0	1
46	平和支所・らくらくプラザ	2	1	1	2
47	北津島病院北	0	4	3	2
48	ヨシヅヤ平和店	3	0	0	2
49	下起中	1	0	0	1
50	西光坊	1	0	0	1
51	法立小学校西	0	0	0	0
52	新開西	1	0	0	1
53	鷺尾農村公園南	0	0	0	0
54	須ヶ谷	0	0	0	0
55	上三宅公民館	0	1	1	0
56	下三宅	0	0	0	0
57	長東	11	1	1	11
58	奥田保育園北	2	1	0	2
59	奥田郵便局	0	0	0	0
60	奥田駅	1	0	0	0
61	大里西市民センター	0	0	0	0
62	大里駅	4	1	2	5
63	日下部郵便局	3	2	2	2
64	大里東市民センター	4	1	0	4
65	パールシティ	3	4	2	2
99	不明	20	27	39	36

問3 コミュニティバスをどの程度利用されていますか。

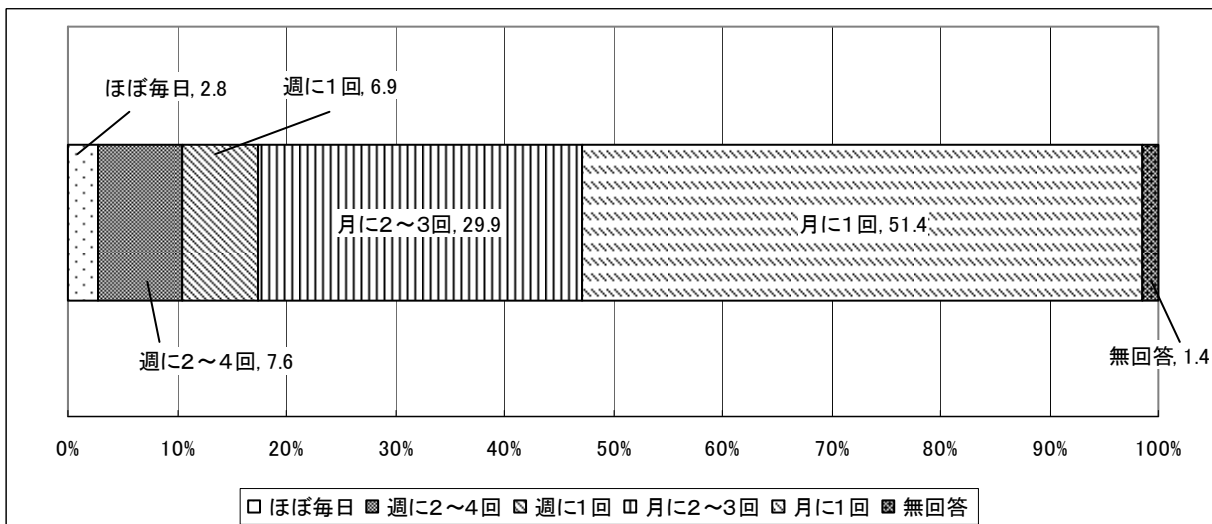
○ 以下の上段の表が今回のアンケート調査結果、下段の表が平成21年6月の市民アンケート(満18歳以上、2,500人無作為抽出)です。「ほぼ毎日」が2.8%から10.2%、「週に2~4回」が7.6%と比較して「週に2~3回」が29.1%であるなど、全体的に利用頻度が伸びてきていることがわかります。



【参考】平成21年6月市民アンケート調査(18歳以上、2,500人無作為抽出)

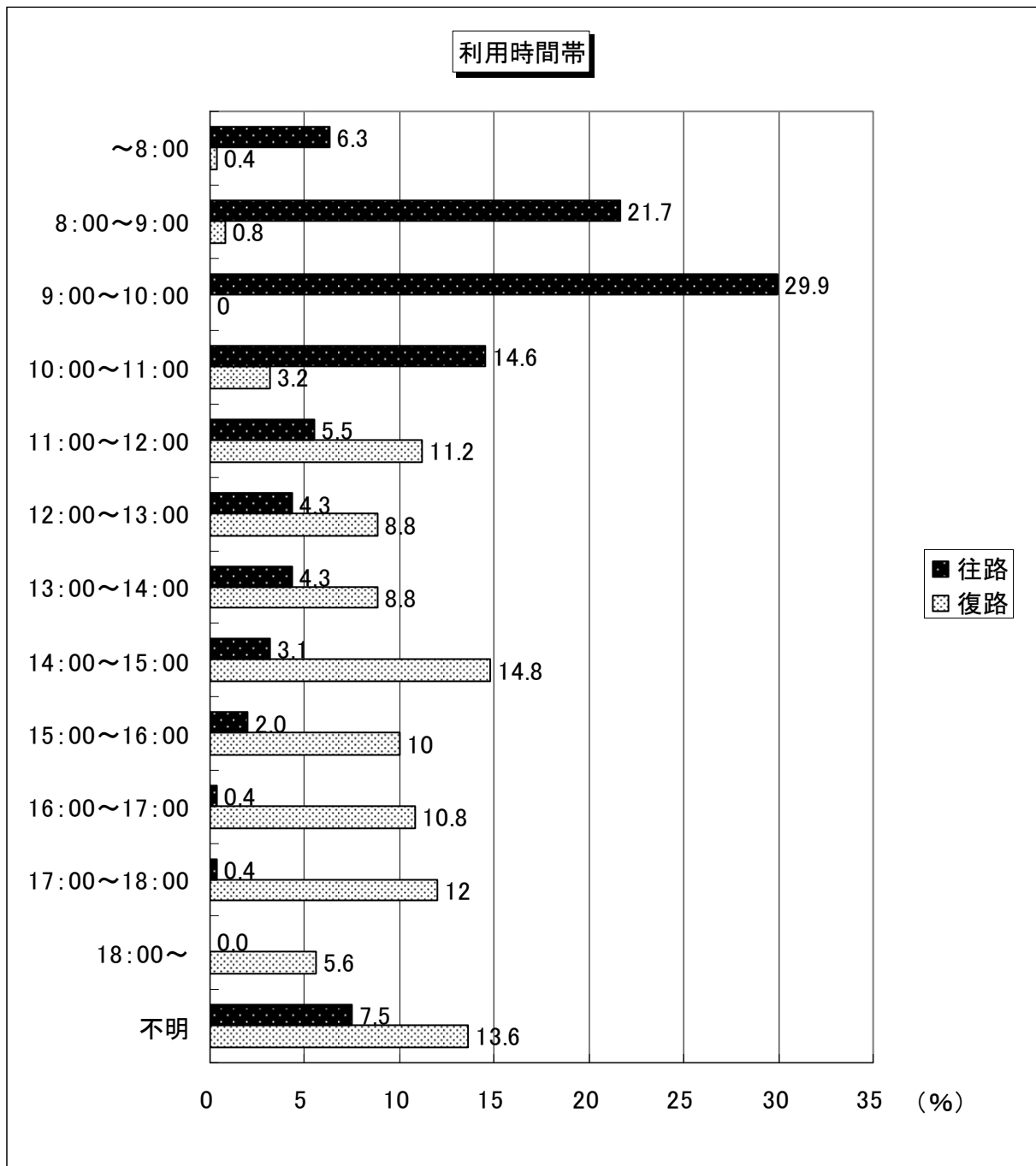
「どの程度コミュニティバスを利用していますか」の設問に対する回答

(※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問)



問4 主にコミュニティバスに乗車される時間帯は、どの時間帯ですか。

- 第1位は「9：00～10：00」で29.9%、第2位は「8：00～9：00」で22.5%、第3位は「14：00～15：00」で17.9%、第4位は「10：00～11：00」で17.8%となっています。
 午後よりも午前中の利用が多くなっており、午前中は「9：00～10：00」をピークにその前後の時間帯、午後は「14：00～15：00」をピークにその前後の時間帯が多くなっています。

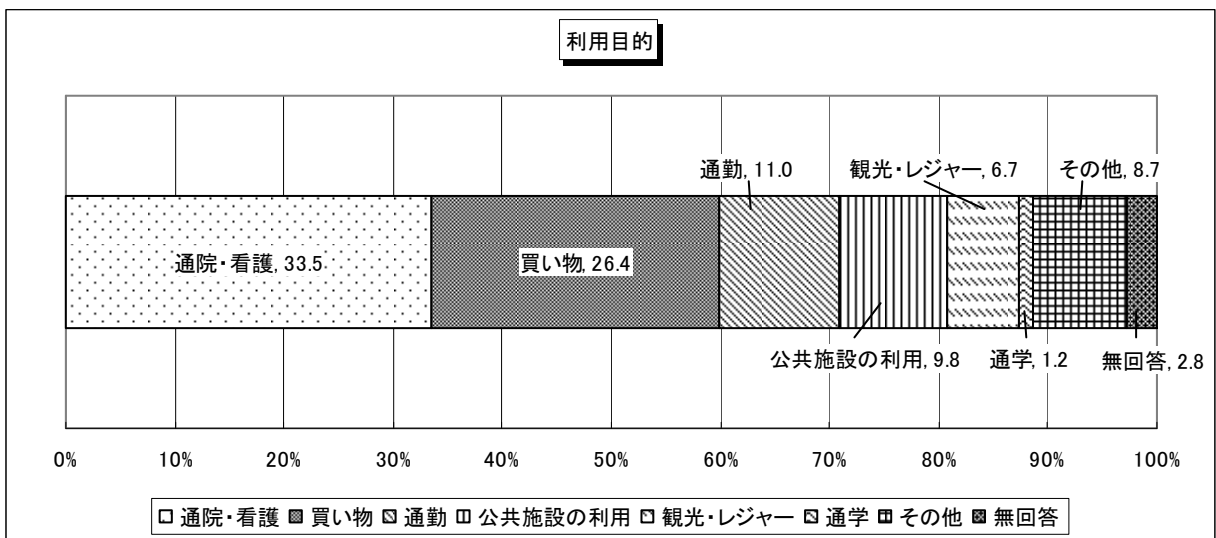


問5 主にコミュニティバスをどのような目的で利用されますか。

○ 上段の表は、今回の調査結果です。第1位は「通院・看護」で33.5%、第2位は「買い物」で26.4%、第3位は「通勤」で11.0%、第4位は「公共施設の利用」で9.8%でした。

「通院・看護」と「買い物」で59.9%と半数以上を占め、これに「通勤」を含めると70.9%、さらに「公共施設の利用」を含めると80.7%となりますので、多くのかたがこの4つの目的で利用されていることがわかります。

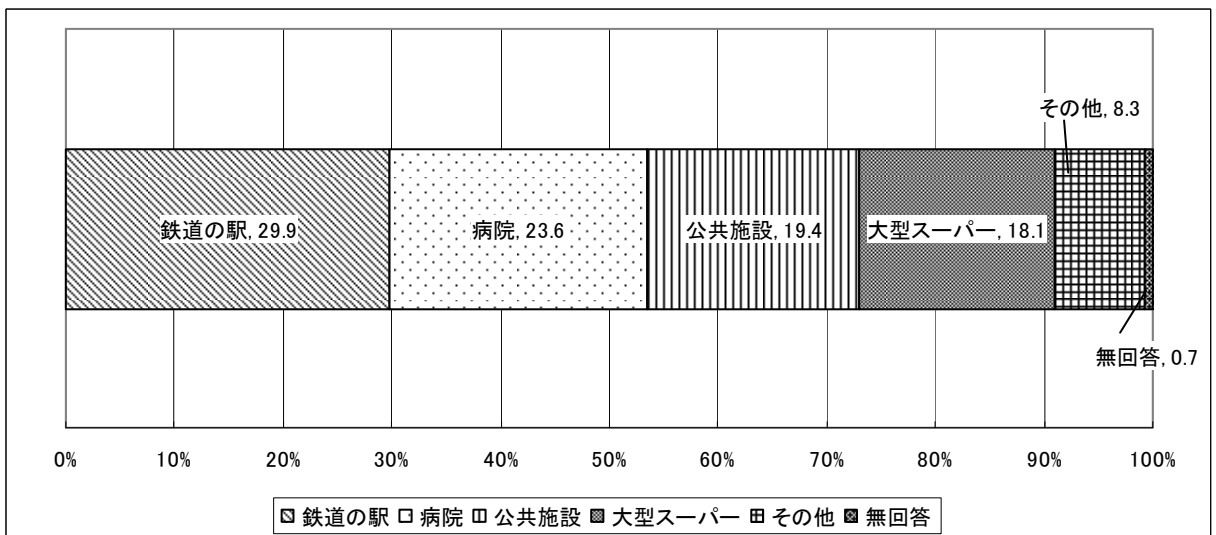
参考までに下段に平成21年6月市民アンケート調査結果(満18歳以上、2,500人無作為抽出)を掲載しました。前回は、選択項目に「鉄道の駅」がありましたので単純には比較できませんが、多くのかたが利用されている上位3つの目的で「鉄道の駅」を利用するかたが含まれると思われるので、おおよその傾向は変わらないものと考えられます。



【参考】平成21年6月市民アンケート調査(18歳以上、2,500人無作為抽出)

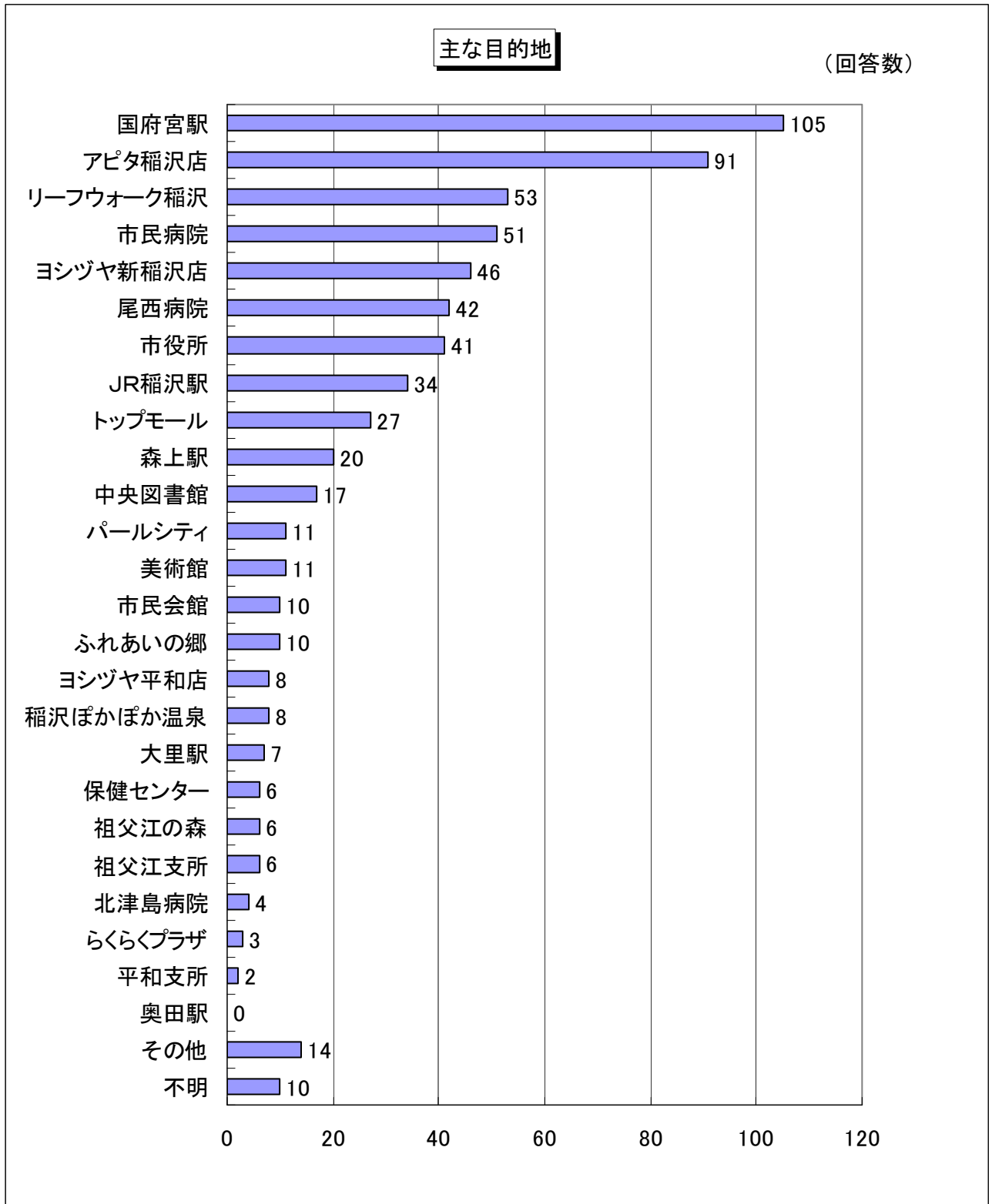
「コミュニティバスを利用して主にどちらへ行かれますか」の設問に対する回答

(※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問)



問6 主にコミュニティバスを利用してどちらへ行かれますか。
次の項目の中から3つ選んで番号を記入してください。

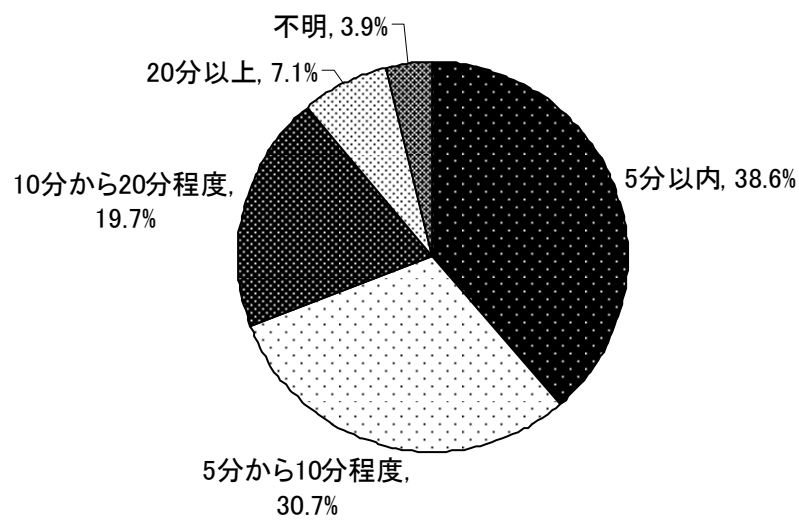
○ 「国府宮駅」が第1位で、順に「アピタ稲沢」、「リーフウォーク稲沢」、「市民病院」、「ヨシヅヤ稲沢店」となっており、駅、量販店、病院が上位を占めています。



問7 あなたの御自宅から最寄りの停留所まで徒歩で何分掛かりますか。
次の項目の中から1つ選んで番号を記入してください。

- 「5分以内」が最も多く38.6%で、やはり時間が掛かれば掛かるほど利用されるかたは減少します。「5分から10分程度」が30.7%、「10分から20分程度」が19.7%ですので、10分を超えると大きく落ち込むものと考えられます。
- また、「20分以上」であっても7.1%のかたに御利用いただいています。

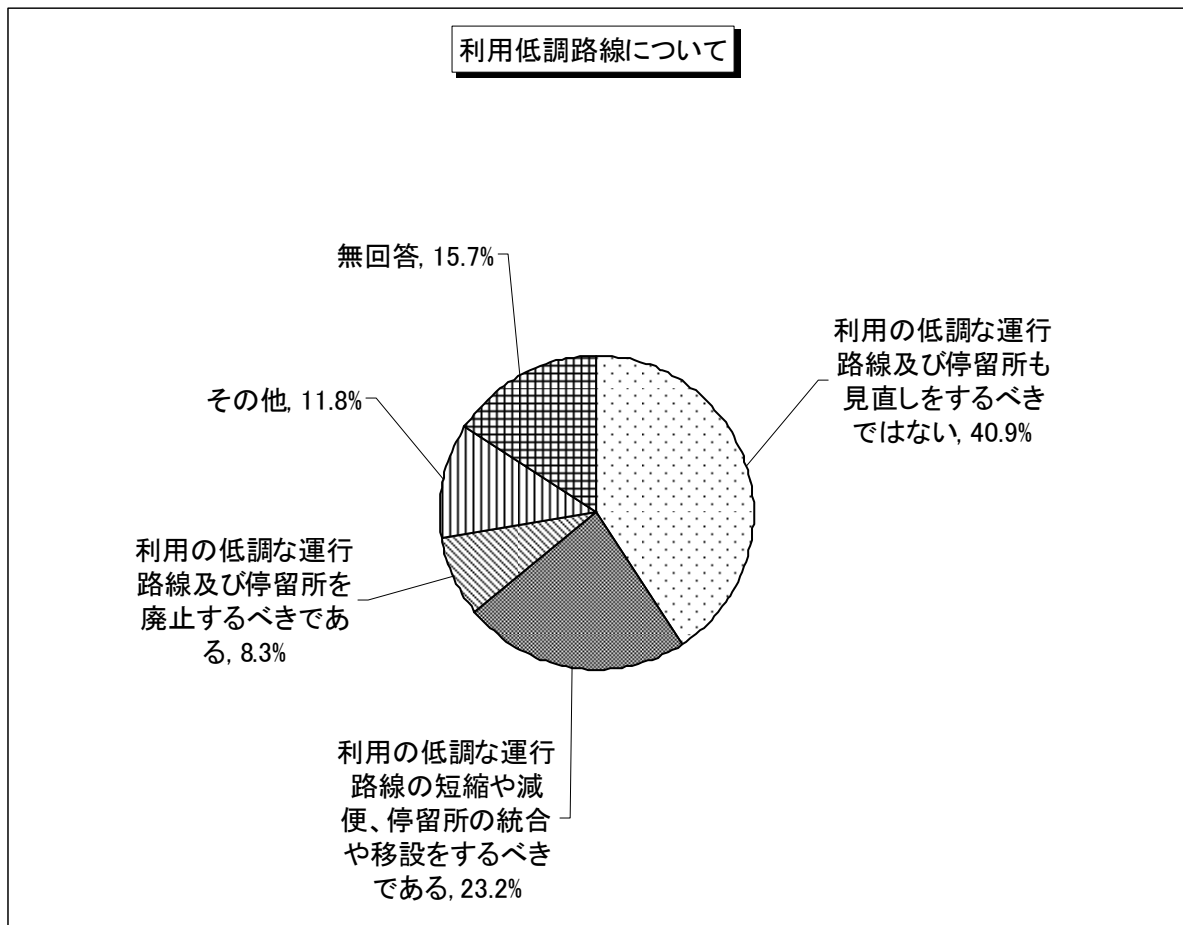
自宅から徒歩で停留所まで



問8 コミュニティバスの運賃は200円ですが、利用者1人当りにかかっている運行経費のうち、市の負担額の平均（平成23年7月1日～平成24年5月31日）は、祖父江・下津線（ふれあいの郷系統）が471円、同線（地泉院系統）が490円、平和・千代田線が1,460円、大里循環線が620円となっています。

このように、各路線において市負担額に差が生じておりますので、利用の低調な運行路線や停留所は見直しを検討する必要があると考えています。
次の項目の中から1つ選んで番号を記入してください。

- 多い方から「利用の低調な運行路線及び停留所も見直しするべきではない」が40.9%、「利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の統合や移設をするべきである」が23.2%。「利用の低調な運行路線及び停留所を廃止するべきである」が8.3%でした。見直しをするべきでないというかたが最も多いですが、過半数を超えるには至っていません。

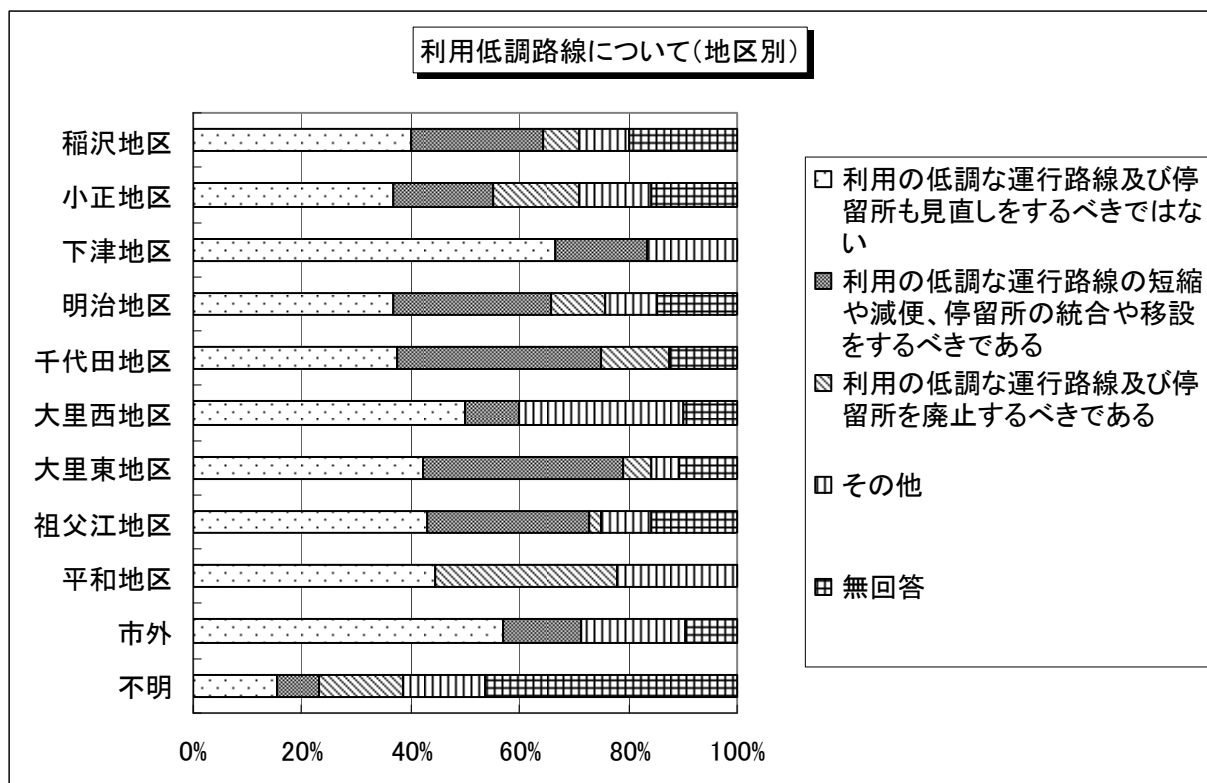


○ 下表は、この設問の回答を地区別に表したものです。

「利用の低調な運行路線及び停留所も見直しするべきではない」が下津地区で 66.7%、市外で 57.1%と過半数を超えています。

「利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の統合や移設をするべきである」が多い地区は、千代田地区で 37.5%、大里東地区で 36.8%となっています。

「利用の低調な運行路線及び停留所を廃止するべきである」が多い地区は、平和地区で 33.3%でありました。

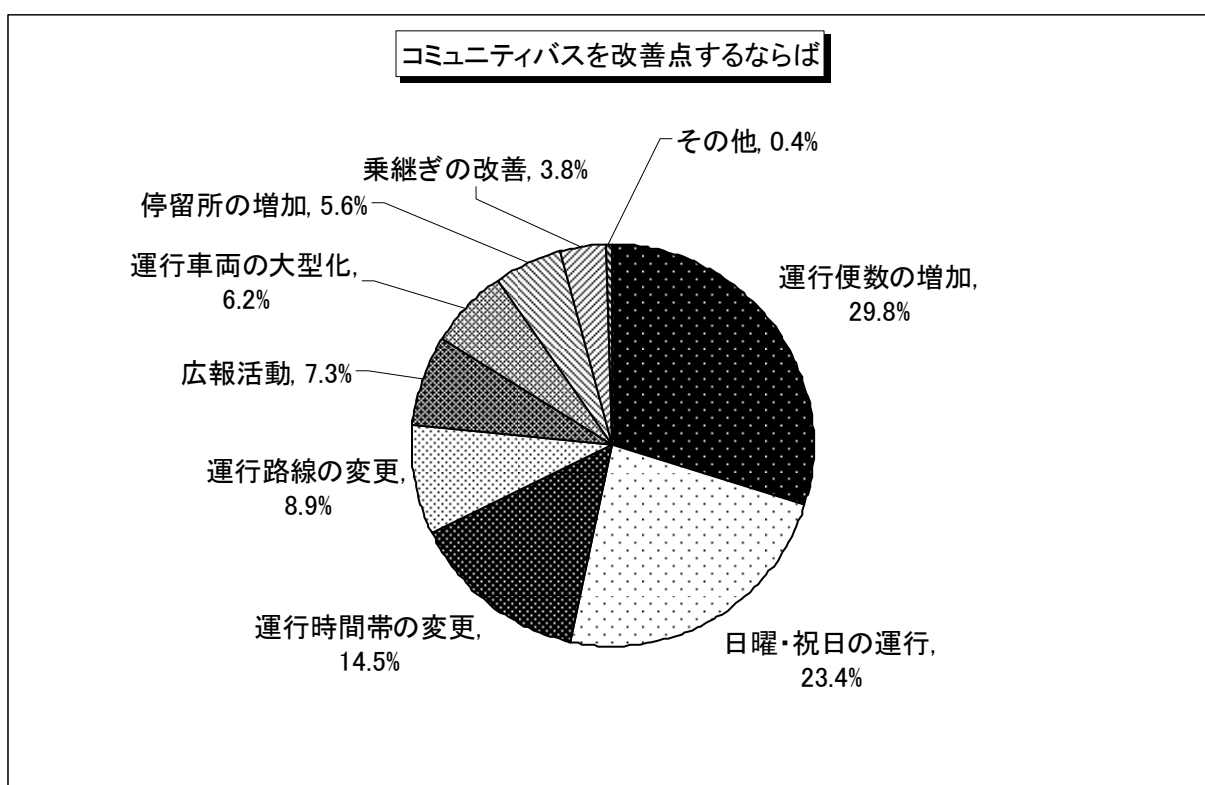


問9 より多くのかたにコミュニティバスを利用いただくために、改善するならばどのようなことだと思われますか。

次の項目の中から2つ選んで番号を記入してください。

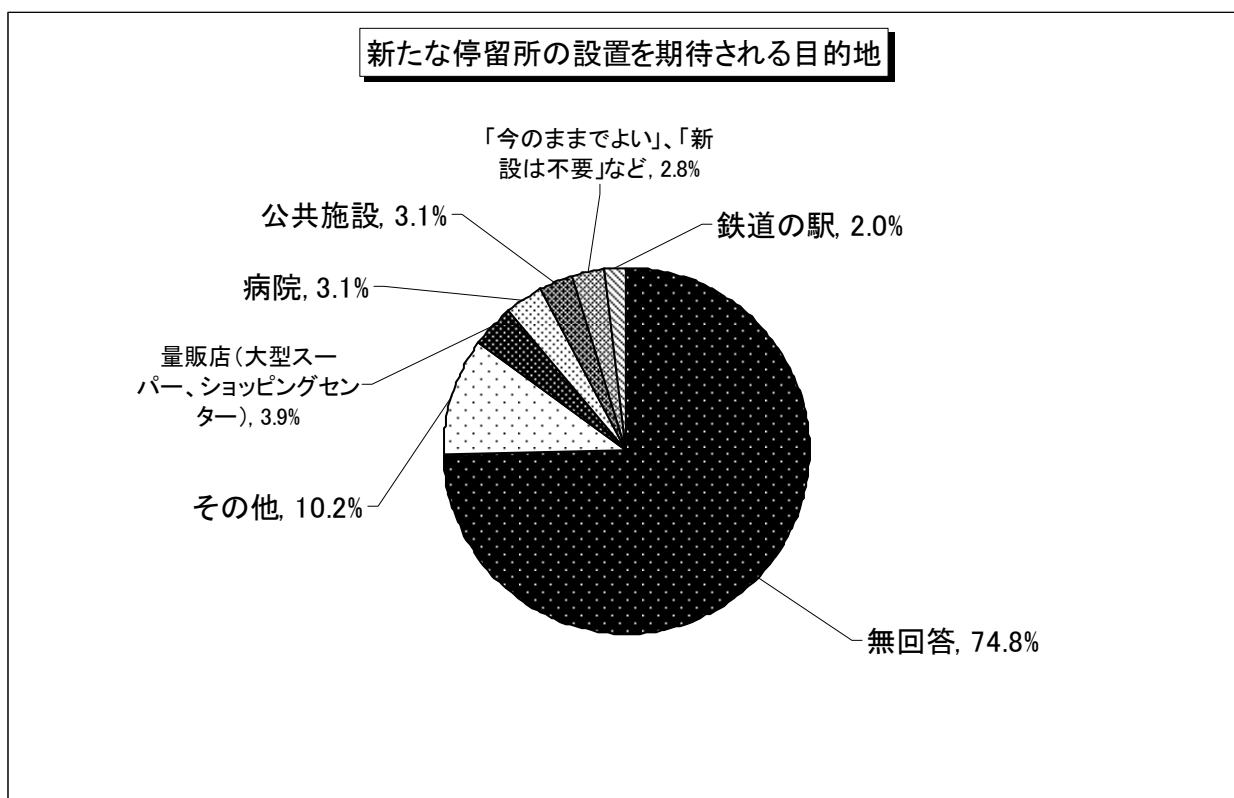
○ 上位は、御意見の多かった順に「運行便数の増加」、「日曜・祝日の運行」、「運行時間帯の変更」「運行路線の変更」でした。

「日曜・祝日の運行」も運行便数の増加には変わりないので、利用者のかたがたは増便を強く望まれていることがわかります。



問10 コミュニティバスの目的地として、新たに停留所を設けるならば、どこに設けるのが良いと思われますか。
施設名などを御記入ください。

○ 「記載された内容から以下のように分類をさせていただきました。「無回答」が74.8%と圧倒的に多い結果でした。



2 コミュニティバス及びコミュニティタクシーに関する意見・要望

利用者のかたからいただきました、コミュニティバス及びコミュニティタクシーに関する御意見・御要望を大別しますと、次のグラフのようになります。

運行便数の増加、運行路線の変更、時刻表の変更等の「運行路線、時刻表等に関すること」が65.2%と半数以上を占め、利便性の向上を目指した『運行事業計画』の変更を望まれる御意見を多くいただいています。

次に、運行車両の大型化、装備の充実等の「車両等に関すること」が17.2%、利用料金の見直し、回数券の発行等の「利用料金に関すること」が14.3%となっています。

なお、御意見の中には、「コミュニティバスは便利である」、「運行の継続を望む」、「乗務員が親切・丁寧である」等の運行について良い評価をしていただいたものがございます。

